

カラー品質ガイド

カラー品質ガイドは、プリンターで色の調整やカスタマイズをどのように行うか理解するのに役立ちます。

印刷品質メニュー

使用	目的
印刷モード カラー 白黒のみ	画像を白黒で印刷するかカラーで印刷するかを指定します。 メモ: - 工場出荷時は[カラー]に設定されています。 - プリンタドライバの設定がこの設定に優先します。
カラー補正 自動 オフ 手差し	印刷されたページの色を調整します。 メモ: - 工場出荷時は[自動]に設定されています。この設定では、印刷されたページ上の各オブジェクトに対して異なる色変換テーブルが適用されます [オフ]ではカラー補正がオフになります。 [手動]を選択した場合、[手動カラー]メニューにて色変換テーブルをカスタマイズすることができます。 - 色の加減算の結果が異なるため、コンピュータ画面上の色と印刷されたページ上の色は完全には一致しません。
印刷解像度 1200 dpi 4800 CQ	dpi または色品質 (CQ) で印刷出力の解像度を指定します。 メモ: 工場出荷時は 4800 CQ に設定されています。
トナーの濃さ 1～5	出力を薄く(または濃く)します。 メモ: - 工場出荷時は 4 に設定されています。 - 値を小さくすると、トナーを節約することができます。
細かい線を強調 オン オフ	建築図面や地図、電気回路図、フローチャートなどに適した印刷モードを設定します。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 - 内蔵 WEB サーバー(EWS) から [細かい線を強調]を設定するには、Web ブラウザのアドレスフィールドに、ネットワークプリンタの IP アドレスを入力します。 - ソフトウェアからこのオプションを設定できます。 Windows の場合 [ファイル] > [印刷]をクリックしてから、[プロパティ]、[基本設定]、[オプション]、[セットアップ]のいずれかをクリックします。 Macintosh の場合 [ファイル] > [印刷]を選択してから、印刷ダイアログとポップアップメニューにて設定を変更します。
カラートナー節約 オン オフ	グラフィックスや画像の印刷に使用するトナーの量を減らします。文字の印刷に使用するトナーの量は減りません。 メモ: - 工場出荷時は[オフ]に設定されています。 [オン]を選択すると、この設定が[トナーの濃さ]の設定に優先します。
RGB 明るさ -6 ～ 6	明るくするか暗くして、印刷出力を調節します。出力を明るくすると、トナーを節約できます。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。

使用	目的
RGB コントラスト 0～5	印刷物のコントラストを調整します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。
RGB 彩度 0～5	カラー出力の彩度を調節します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。
カラーバランス シアン -5 ～ 5 マゼンタ -5 ～ 5 イエロー -5 ～ 5 ブラック -5 ～ 5 標準設定に戻す	各色のトナー使用量を増減させて、印刷出力の色を調整します。 メモ: 工場出荷時は 0 に設定されています。
カラーサンプル sRGB 画面 sRGB 鮮明 画面 - トゥルーブラック 鮮明 オフ - RGB US CMYK ユーロ CMYK 鮮明 CMYK オフ - CMYK	プリンタで使用されている RGB/CMYK の各種色変換テーブルのサンプルページを印刷します。 メモ: • ユーザーが選択したサンプルが印刷されます。 • カラーサンプルには、RGB または CMYK の値とともに、色見本のボックスが表示されます。目的の印刷出力において RGB と CMYK のどちらが適しているかを判断するのに役立ちます。 • 内蔵 WEB サーバー(EWS) からカラーサンプルページの全一覧にアクセスするには、Web ブラウザのアドレスフィールドに、ネットワークプリンタの IP アドレスを入力します。
手動カラー RGB イメージ RGB 文字 RGB グラフィックス	RGB の色変換をカスタマイズします。 以下のオプションから選択します。 鮮明 sRGB 画面 画面 - トゥルーブラック sRGB 鮮明 オフ メモ: • [RGB イメージ]の工場出荷時設定は[sRGB 画面]になっています。この設定では、コンピュータのディスプレイに適した色変換テーブルが適用されます。 • [RGB 文字] および [RGB グラフィックス]の工場出荷時設定は[sRGB 鮮明]になっています。これは彩度を上げる色表を使用します。この設定は、グラフィックスや文字の業務印刷に適しています。 • [Vivid]を選択すると、明度と彩度がより高い色変換テーブルが適用されます。 • [画面 - トゥルーブラック]を選択すると、ブラックトナーのみでグレーの中間色を表現する色変換テーブルが適用されます。 • [オフ]では色変換がオフになります。

使用	目的
手動カラー(続き) CMYK イメージ CMYK 文字 CMYK グラフィックス	CMYK の色変換をカスタマイズします。 以下のオプションから選択します。 US CMYK ユーロ CMYK 鮮明 CMYK オフ メモ: - 工場出荷時設定は[US CMYK]になっています。[US CMYK]では、SWOP カラー出力に近い色を作成する色変換テーブルが適用されます。 - 米国以外の国の工場出荷時設定は[ユーロ CMYK]になっています。[ユーロ CMYK]では、Euroscale カラー出力に近い色を作成する色変換テーブルが適用されます。 [鮮明 CMYK]を選択すると、[US] より彩度の高い色変換テーブルが適用されます。 [オフ]では色変換がオフになります。
スポット色交換	指定した CMYK 値を、名前付きのスポット色に割り当てます。 メモ: このメニューは、内蔵 Web サーバーでのみ表示されます。
カラー調整	色変換テーブルを再校正し、出力における色偏差を補正します。 メモ: - このメニューを選択すると、カラー調整が開始されます。カラー調整中は、完了するまで、ディスプレイに カラー調整中 と表示されます。 - プリンタ周囲の変化しやすい環境(部屋の温度や湿度など)によって、出力の色偏差が引き起こされる場合があります。そのような場合に、プリンタのアルゴリズムによってカラー調整することができます。また、カラー調整を実行すると、カラーアライメントが再校正されます。

カラー印刷についてのよくある質問

RGB カラーとは？

赤、緑、および青の光は、さまざまな割合で重ねると自然界で見られる幅広い色を作ることができます。例えば、赤と緑を組み合わせると黄色を作ることができます。テレビやコンピュータのモニターの色はこのように作ります。RGB カラーは、ある色を作るのに必要な赤、緑、または青色の割合を示すことによって色を表現する方法です。

CMYK カラーとは？

シアン、マゼンタ、黄色、および黒のインクまたはトナーは、さまざまな割合で印刷すると自然界で見られる幅広い色を作ることができます。例えば、シアンと黄色を組み合わせると緑色を作ることができます。印刷機、インクジェットプリンタ、およびカラーレーザー／LED プリンタの色はこのように作ります。CMYK カラーは、特定の色を再現するのに必要なシアン、マゼンタ、黄色、および黒の割合を示すことによって色を表現する方法です。

印刷される文書の色はどのように指定されるのですか？

一般的に、ソフトウェアアプリケーションが RGB または CMYK カラーの組み合わせを使用して文書の色を指定します。さらに、通常は文書中のオブジェクトの色をそれぞれ自分で修正することもできます。詳細については、オペレーティングシステムのヘルプ情報を参照してください。

プリンタは印刷する色をどのように認識するのですか？

印刷時に、それぞれのオブジェクトのタイプおよび色を説明する情報がプリンタに送信されます。この色情報は色変換表にかけられ、この希望の色を作るのに必要なシアン、マゼンタ、黄色、および黒のトナーの量が算出されます。オブジェクトタイプの情報に従い、オブジェクトのタイプごとに異なる色変換表を使用します。例えば、文字には 1 種類の色変換表を適用し、写真イメージには別の色変換表を適用することができます。

手動カラー補正とは？

手動カラー補正が有効である場合、ユーザーが選択した色変換表を使用し、オブジェクトを処理します。ただし、[カラー補正]を[手動]に設定する必要があります。このようにしない場合、ユーザー定義の色変換表が実装されません。手動カラー補正設定は、印刷中のオブジェクトのタイプ(テキスト、グラフィックス、または画像)と、ソフトウェアプログラムでオブジェクトの色を指定する方法(RGB または CMYK の組み合わせ)に固有です。

メモ:

- [手動カラー補正]は、ソフトウェアアプリケーションが RGB または CMYK の組み合わせで色を指定しない場合は有効ではありません。ソフトウェアアプリケーションまたはコンピュータのオペレーティングシステムで色の調整を行う場合も効果はありません。
- [自動カラー補正]が選択されると、色変換表によって、ほとんどのドキュメントで使用される優先色が生成されます。

色変換表を手動で適用するには、次の手順を実行します。

- 1 プリントコントロールパネルの[印刷品質]メニューで、[カラー補正]を選択し、[手動]を選択します。
- 2 プリントコントロールパネルの[印刷品質]メニューで、[手動カラー]を選択し、影響するオブジェクトタイプの該当する色変換表を選択します。

オブジェクトタイプ	色変換表
RGB イメージ RGB テキスト RGB グラフィックス	• 鮮明—より明るい彩度の色を生成し、すべての受信するカラー形式に適用できます。 • sRGB 表示—コンピュータモニタに合った色を生成します。 メモ: 写真印刷の黒のトナーの使用が最適化されます。 • 表示—ウルトラブラック—コンピュータモニタに合った色を生成します。黒のトナーのみを使用し、すべてのレベルで中立的なグレーを作成します。 • sRGB 鮮明—sRGB 表示カラー補正の高い彩度の色を生成します。 メモ: ビジネスグラフィックスの印刷の場合に、黒トナーの使用が最適化されます。 • オフ—カラー補正されません。
CMYK イメージ CMYK テキスト CMYK グラフィックス	• US CMYK—SWOP (Specifications for Web Offset Publishing) 色出力の近似値に補正します。 • Euro CMYK—EuroScale 色出力の近似値に補正します。 • 鮮明 CMYK—[US CMYK] より彩度の高いカラー補正設定が適用されます。 • オフ—カラー補正されません。

特殊な色(企業のロゴなど)はどのように合わせますか？

[9 種類の色サンプル]セットは、プリントコントロールパネルの[印刷品質]メニューから使用できます。これらは内蔵 WEB サーバーのカラーサンプルページにあります。カラーサンプルのいずれかを選択すると、数百のカラーボックスが複数ページに印刷されます。選択した表に応じて、CMYK または RGB の組み合わせが各ボックスに配置されています。ボックスに表示された CMYK または RGB の組み合わせを選択した色変換表に通すと各ボックスの実際の色が得られます。

カラーサンプルページを確認して、希望の色に最も近い色のボックスを特定できます。次に、ボックスに表示される色の組み合わせを使用して、ソフトウェアアプリケーションでオブジェクトの色を修正できます。詳細については、オペレーティングシステムのヘルプ情報を参照してください。

メモ: [手動カラー補正]は特殊なオブジェクトに対して色変換表を選択し利用する際に必要です。

特殊な色の色合わせにどの[カラーサンプル]ページを使用するかは、使用している[カラー補正]の設定、印刷するオブジェクトの種類、およびソフトウェアアプリケーションでのオブジェクトの色の指定方法によって異なります。[カラー補正]が[オフ]に設定されていると、その色は印刷ジョブのデータをベースにし、色変換は実行されません。

メモ: [カラーサンプル]ページは、ソフトウェアアプリケーションが RGB または CMYK の組み合わせで色を指定しない場合は有効ではありません。また、ソフトウェアアプリケーションまたはコンピュータのオペレーティングシステムが、カラー管理を通してアプリケーションに指定された RGB または CMYK の組み合わせを調整する場合もあります。その結果印刷された色が[カラーサンプル]ページと厳密には合わない場合があります。